

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／財務部納税課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	市税等徴収事業 (他課への一部予算 再配当事務)	持続可能で信頼される行 政になっている	自主財源の確保を図るため、納税 者の公平性を維持しつつ市税を徴 収し、収納管理を行う。	財産調査の効率化のためオンライン照 会を活用。基幹システム標準化に係る 滞納管理システムデータ連携業務を実 施。	3：おおむね近づいた	継続	55,600	101,867	157,467	基幹システム標準化に対応するため スムーズな滞納管理システムの連携 を目指す。	課題発生時は、担当内での協議及び 事業者との連絡を密に行う。	
2	市税等過誤納還付事 業 (他課への一部予算 再配当事務)	持続可能で信頼される行 政になっている	納税者の公平性を確保するため、 過誤納金を適切に処理する。	税額変更等により発生する過誤納金処 理を適切に実施。基幹システムの標準 化に向けた対応を実施。	3：おおむね近づいた	継続	97,900	20,022	117,922	複雑な業務に対応するため業務の質 の維持。	課税課との連携と担当内での情報共 有。	
3	市税等広域徴収事業	持続可能で信頼される行 政になっている	滞納整理業務の高度化を図るた め、大阪府域地方税徴収機構にお いて市税等の広域徴収を行う。	大阪府域地方税徴収機構を通して得た 知識や経験を課内研修等で周知。	4：大いに近づいた	継続	490	10,535	11,025	知識の共有の継続。	人材育成による知識の習得。	
4	債権管理事業	持続可能で信頼される行 政になっている	効率的な市債権の回収を行うた め、一元的な債権管理を実施す る。	移管対象債権の拡大。	3：おおむね近づいた	継続	601	37,625	38,226	より効率的・効果的な債権管理回収 体制の構築。	業務委託の効率化、効果的な活用。	
5	納税課管理事務事業	持続可能で信頼される行 政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行す るため、庶務全般を効率的に行 う。	円滑な課内・部内運営のため、適正な 事務の徹底。	3：おおむね近づいた	継続	80	15,507	15,587	業務の質の維持・向上。	人材育成による知識の習得。	
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／財務部納税課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												